

平成20年度アンケート調査途中経過

平成20年度のアンケート調査結果は以下のとおりです。

1) 調査対象者

丘陵地区内に土地を所有する権利者(全245世帯)

2) 調査期間

平成20年12月24日～

3) 調査方法

アンケート調査用紙は郵送により発送。

アンケート回収は権利者から郵送により送付。

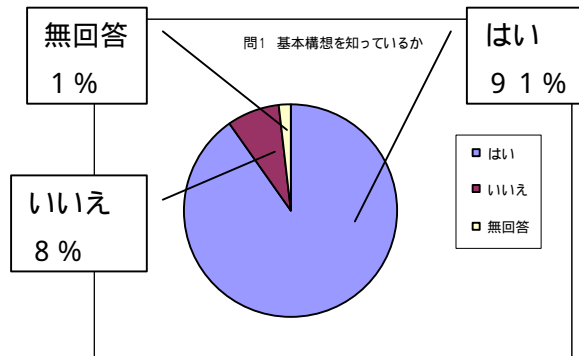
4) アンケートの回収率

(21.1.14 現在)

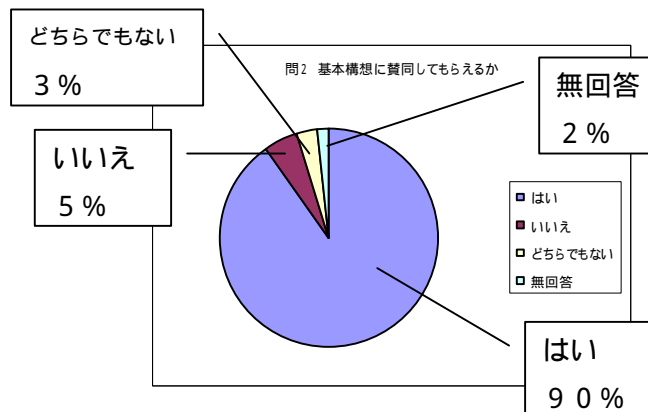
送付件数	回答件数	回収率
245	65	26.5%

5) アンケート回答(全5項目) アンケート回答者を100%としています。

問1 「岸和田市丘陵地区整備計画基本構想」の内容について知っていますか。



問2 「岸和田市丘陵地区整備計画基本構想」に賛同していただけますか。



問3 問2で「賛同できない」と回答された方への質問。
どのような条件が加われば賛同できるか。

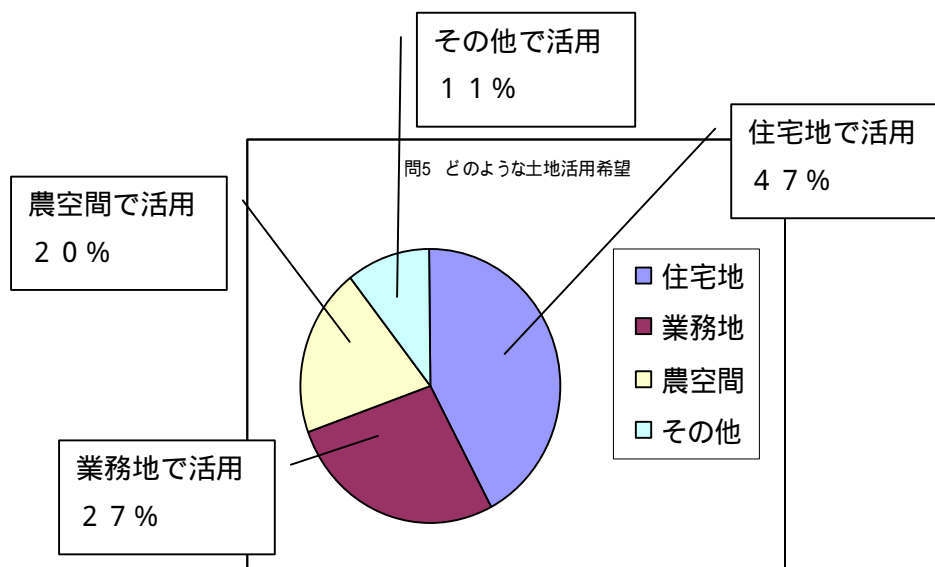
(条件として主な意見)

- ・公共交通手段を確保し、業務内容を制限する。
- ・自然保全地を分散しながら繋がるようにする。
- ・農地は住宅地に隣接させ、住民参加のしやすいようにする。
- ・換地後の土地が自宅から従前地よりも近くなる。
- ・賛同するか、減歩率が問題と思う。
- ・整備内容や具体的な内容による。

(その他の主な意見)

- ・先行き不明で判断しかねる。
- ・区画整理することが地権者にとって意味があるかがわからない。

問4 基本構想(住宅地・業務地・農地・自然保全地)を参考にどのような土地活用をした
いか。(複数回答可)



(住宅地) 自己居宅用・賃貸・売却

(業務地) 自己事業用・賃貸・売却

(農空間) 自己耕作用・農業法人への賃貸・市民農園

(その他) ・医療ゾーンを作るなら利用したい。

- ・レジャー産業、国・府に賃貸はどうか。
- ・有意義な案が出たら、場合により調整代として使っていただいてもよい。
- ・自然保護で買い上げてほしい。
- ・岸和田市の発展の拠点になればよい。
- ・自己耕作地・住居をかねる事の出来る広い敷地を有する事。
- ・今のところ後継者がいないので農地ではなく宅地として賃貸できればと思う。

問5 土地利用についての希望（複数回答可）

（住宅地）・農作物が自給できる敷地面積の住宅。

- ・住宅地としての発展を望みます。

（業務地）・宅配業者に買ってもらう。

- ・食の安全のための食品会社を誘致、直営会社がする農場を確保する。
- ・病院・学校・医大・大企業（業種不問）を誘致。
- ・市役所の移転。
- ・現在不況なので3～4年先を見ての企業（大手スーパーの農作物加工工場・食品工場・医学専門学校）選定をする。
- ・公用目的の地方公共団体を誘致し、面整備を負担してもらう。

（農空間）・食糧難に備えての大規模農業計画の作成。

- ・最終消費形態を考えての作物指導・研究施設の設置。
- ・市街地農地で自由に転用できる事。
- ・趣味の農業で直売所への出荷（販売）ルート確保。
- ・消費者ニーズにあったアクセスの道路整備。
- ・果樹栽培技術向上のための研究施設の設置。

（自然地）・今のままの田園風景を残す。

（その他）・早くしてほしい。

- ・賃貸等何らかの形で土地活用希望。
- ・展開の速さが必要。個々の希望は様々で時間を要するばかりで前に進まない。岸和田市のリーダーシップが必要。